

## 平成26年度京都市伝統産業活性化推進審議会

日 時：平成26年7月8日（火） 15：00～17：00

場 所：京都ロイヤルホテル&スパ 2階 翠峰の間

出席者：14名（五十音順，敬省略）

大谷 貴美子	京都府立大学生命環境科学研究科教授
柿野 欽吾	学校法人京都産業大学理事長
金岡 亜友子	市民委員
島田 昭彦	株式会社クリップ代表取締役社長
滝口 洋子	京都市立芸術大学美術学部教授
塚本 稔	京都市副市長
中村 真理子	市民委員
日野 明子	スタジオ木瓜代表
三木 清	京都伝統工芸協議会会長，京都竹材商業協同組合理事長
三原 陽市郎	京の伝統産業春秋会会長
村上 圭子	京都市産業観光局長
山舗 恵子	株式会社京都リビング新聞社統括編集長
山本 建太郎	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授
若林 靖永	京都大学大学院経営管理研究部教授

欠席者：3名（五十音順，敬称略）

河村 和子	京の伝統産業春秋会監事
坂本 香代子	京都市立安井小学校校長
渡邊 隆夫	西陣織工業組合理事長，京都商工会議所監事

### 1 開会

### 2 塚本副市長挨拶

### 3 議事

議案1 審議会会長の選出及び副会長の指名について  
会長に柿野欽吾委員を選出。副会長に滝口洋子委員及び若林靖永委員を指名

議案2 部会委員の指名について  
各部会の委員を指名

報告事項 第2期京都市伝統産業活性化推進計画に係る平成26年度新規事業等について

#### 4 報告事項説明後に意見交換

##### <委員>

- ・ ふれあい館に展示してある伝統産業製品の全てに、値札を付けてはどうか。

##### <委員>

- ・ 昨年度も、「ふれあい館に展示しているのに購入につながらないのはもったいない」「値札が付いていればお店に問い合わせ等ができる」といった御意見をいただいた。その後、展示品に御許可いただいたものから、順次、値札を付けていっている状況である。

##### <委員>

- ・ 「伝統産業の日」に、留学生を連れて展示を見に行った際、英語表記がなく、とても困った。DVD等も日本語のみであり、伝統産業の制作プロセス等の専門用語を英語に訳して留学生へ説明するのは難しい。留学生は日本文化にとっても興味があるので、展示内容を英語で説明してくれるようなアプリを開発してもいいのではないか。
- ・ この展示作品をどこで買えるか、どこへいったら制作現場が見られるかという情報を、英語と日本語の両方で発信してもらいたい。わたしたちの伝統産業も英語版を作成したらどうか。

##### <委員>

- ・ 西陣織については、英語版パンフレットが既にある。アプリの開発はすぐに難しいとは思いますが、組合単位でパンフレットを制作していたり、観光客相手に英語表記の資料を作成している事業所もあるかと思うので、そういったものを集めてふれあい館で配架してはいかがか。細かいところまでは難しいとは思いますが、一般的なものだけでも英語で伝えていくことが大事である。

##### <委員>

- ・ 外国の方へ伝えるためには、意識をして、シンプルに伝えることが必要である。伝統産業業界は、伝えていかないと、先細りしていってしまう。翻訳者が間に入り、わかりやすくシンプルに伝えるという第三の存在が大事である。ここ最近、他府県の方で職人になりたいという人が、私が聞いただけでも5～6人いらっしまった。代々、伝統産業製品を家業としてされている方以外にも、これまで伝統産業とつながりがなかった若者へもアプローチすることで、職人になる人が増えるのではないかと思う。

##### <委員>

- ・ ふれあい館の見直しについての進捗はいかがか。

##### <事務局>

- ・ 25年度は、来館者数が前年度と比べて減り、20万人を切っている状況である。今年の5月には補正予算を組み、7月から「夏の京もの祭」と題して、底上げを行うべく対応をしているところである。
- ・ 外国人対応力の強化が大事だと考えている。産地のパンフレットや映像を使って、外国の方にも京の伝統産業製品の良さをわかってもらう工夫をしなければいけないと思っている。展示品の入替えや動線の変更等は予算がかかってくるため、しっかりと計画を立てたうえで、予算措置をしていくべきだと考えている。

##### <委員>

- ・ 実演が、土日祝のみとなっているのはなぜか。ふれあい館の魅力は実演であり修学旅行生等にもっと見てもらいたい。

#### <事務局>

- ・ 実演については、予算の関係で26年度から回数が減り、土日祝のみの開催となっている。

#### <委員>

- ・ 技術の継承や後継者の育成の分野で様々な施策を展開していること、心強く思う。商品を作る人は強いが、その工程や材料、道具を作る人にはスポットがあたらず、いつの間にかいなくなってしまう現状を各地で見ている。

#### <事務局>

- ・ 道具類の確保については、協議会を設置してデータベース化に取り組んでいるところである。26年度からは、京都市伝統産業従事者設備改修等事業補助制度を創設し、原材料を作っている事業者の設備改修についても、対応していく。

#### <委員>

- ・ 今年5月に松尾大社で、酒-1グランプリを開催した。一般の方が参加して一番好きな地酒に投票するというイベントで、来場者数は500人規模であった。伝統産業というと、敷居が高いイメージがあるが、少し面白い話題を入れ誰もが参加しやすく楽しめる企画を作ると、普段は敷居が高いとされていることも、PRできると実感した。お酒の好きな方だけでなく、若い方や女性など様々な方が来られていたので、イベントのような形にしたら発信効果が高いのではないかと。

#### <委員>

- ・ 伝統産業と言うと構えてしまうが、わくわくする気持ちをどう引き出すかが大事である。作る努力1に対して、伝える努力を5倍必要である。

#### <委員>

- ・ デザインで今一番クールなのは、宮崎駿と京都である。京都とは、伝統産業に入っているデザインももちろん含まれる。京都デザインと言わなくとも、ジャパングデザインといってもいい。ジャパングオリティーを上げるために、是非、国とも協働してほしい。

#### <委員>

- ・ フランスのパリで開催されたジャパングエキスポへ京都市も参加し、アニメや京都の花街を描いた映画を通じて京都文化を売り込んでいるところである。2015年に行われるミラノ万博においては、和食で出していくべく、府市あげてオール京都で参加したいと考えている。食に関連し、酒を含め関連する伝統産業製品も売り込んでいこうと考えている。

#### <委員>

- ・ 日本は、デザインに対する価値の置き方や評価が低い。ほとんどが、入札で終わってしまう。デザインに対する価値観の置き方を変えていかないと、日本のデザインが貧弱になっていくと思う。公共施設を建てる際は、デザインにもう少しお金を支払っていただき、伝統的な製品等をインテリアとして導入するなど、していただきたいと思う。

#### <委員>

- ・ 昨年、ロンドンの企業から大学へ、大漁旗を作してほしいと依頼があった。京都の伝統産業ではないが、向こうからみると、日本＝京都と見えるようで、学生とともに40枚ほど書き、現在染めにかかっている。これらは、ロンドン・アイと、パリのエッフェル塔の広場に展示してもらえることになっている。

#### <委員>

- ・ 是非, made in kyoto と書いてほしい。

#### <委員>

- ・ その表記は, どんどん使っていくほうが好印象だと思う。ステップ1として「京都」と言うと, 聞く耳を持ってもらえる。ステップ2で, 掘り下げて技術や素材の良さを伝えていく。「ジャパン」というと薄まってしまう。

#### <委員>

- ・ パリにおいて, 「京都」というだけで, 通じると実感した。今年1月に, パリで展示商談会を実施し, 来年も実施する予定である。数年間続けて出展しないと向こうに受け入れてもらえないため, 継続することが大事だと考えている。今年は早くから準備して, パリの若手のデザイナーと京都の職人がコラボレートして, 新しい商品開発を行っていく。

#### <委員>

- ・ 日本文化は竹からといっても過言ではない。お茶, お花, 弓道, 剣道, 武道など, 道がつくものは全て竹が関わっている。茶道体験教室等も外国の方向けに実施している。

#### <委員>

- ・ 体験型の観光から, 最近では, 知的好奇心が高い方たちが, 座禅や精進料理などを通して, 自分とは何か, どこから来たのか, 問いかけに対する答えを求めて来ている。

#### <委員>

- ・ 昔は日本のデザインを学びに来る目的で来ていたが, 最近の留学生の傾向は, 「竹」「清水焼」といったように, 目的を指定して来日している。母国にある伝統産業を育てるために, 京都の伝統産業はうまくいっているという前提のもと, ビジネスモデルとして持ち帰る目的で来日している。目的がはっきりしており, ステップが上がっていると感じる。

#### <委員>

- ・ 小規模産地のうち, 1軒しか存在しないが世界に羽ばたいている事業所もあるが, なくなりそうなところはどのくらいあるのか。それに対して, 行政はどんなフォローをしているか。
- ・ 後継者がなく1軒しかないという小規模産地は, その職人の動きを録画しておくということもいいかと思う。
- ・ 道具の散逸は避ける必要がある。その職人が使っていた道具が散逸してしまうと, 一から道具を探すのが難しい。間があいても, 継ぐ人が出てくる可能性があるので, 道具の保存は重要だと思う。

#### <委員>

- ・ 「きせる」は1軒しかない。隠れた小規模産地を新たに指定していくことも大事かと思う。委員の皆様も, 面白い手仕事をしているものがあれば, 随時教えてもらいたい。

#### <事務局>

- ・ 小規模の業種で構成されている京都市伝統工芸連絡懇話会に加入しているものでいうと, 現在作られていないということはないが, 後継者がいない業種はある。
- ・ 行政のフォローとしては, みやこめッセにおける展示会等において, 補助金等で支援を行っているところである。

#### <委員>

- ・ 「伝統産業の日」のフェイスブックページは、3月が最終の更新日となっている。開催期間中に「いいね！」を稼いだとしても、その時に京都にいないということがあるため、開催期間以外に「いいね！」を稼ぐ必要がある。貴船神社のHPは、心洗われるような写真と短文が付いており、約4万の「いいね！」を稼いでいる。市としても、日々綺麗な写真をアップすれば、閲覧数が増えるのではないかと思う。

#### <委員>

- ・ 留学生も含め大学生のミニインターン制度のようなものがあれば、伝統産業を身近に感じてもらえるのではないか。学生たちに、工房で期間限定で働いてもらい、どのように製品ができているのか身をもって体感してもらえば、ツイッターやフェイスブックといった情報発信、拡散をより多くしてくれると思う。

## 5 閉会